

民主党東京都連男女共同参画委員会は男女共同参画社会を実現するために、下記の政策を行います。

## 戦後最大級の被害と言われた 阪神・淡路大震災から東日本大震災までに…

平成7年に阪神・淡路大震災が発生、6,434名が死亡し、戦後最大の被災となりました。

その後、平成16年に新潟県中越地震が発生し、その年防災基本計画が修正され、男女共同参画の視点が初めて盛り込まれるなど、その後、平成17年第2次男女共同基本計画策定、平成20年に再び防災基本計画の修正、平成22年第3次男女共同参画基本計画の策定により、防災・震災時・復興・復旧時における、①男女のニーズの違い等男女双方の視点への配慮、②男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立、推進が盛り込まれ、施策の中に男女共同参画の視点が浸透してきた、と思われていましたが…

**平成23年3月11日 東日本大震災が発生、阪神・淡路大震災以上の災害の教訓は活かされていないことが露呈しました。**

### <発災後、浮かび上がった問題点>

- ・ 平時の防災の検討や避難所運営等災害現場での意思決定に女性が参画していない
- ・ 防災・震災対応に女性の視点が入らず、配慮が足りない

- ・ 震災が起き、**固定的性別役割分担が、更に強化**
- ・ 様々なストレスにより**女性に対する暴力が増加**

※道府県防災会議に女性が占める割合：3.6%（12都府県では女性委員がゼロ）、避難所運営の中心を担う自治会長の96%近くが男性

※平成24年4月現在：4.5%（6都府県では女性委員がゼロ）

### 民主党は、

- 1、地域防災会議への女性の参画比率を高めます
- 2、災害時の女性センターの役割を明確にし機能強化します  
発災時の妊婦相談・子育て・性暴力被害やDV・こころの相談などを実施し、こころのケアを積極的に行います
- 3、地域防災計画に女性や高齢者、子ども、障害者、外国人等の視点を取り入れます  
避難所運営マニュアルに女性の視点をー授乳室や更衣室、プライバシーを確保できる部屋の設置  
備蓄品に女性用下着・生理用品・化粧品を  
子どもの学習室・遊び場・子どもを預けられる場所の確保を  
障がい者への配慮を
- 4、仮設住宅で生活に女性や高齢者、子ども、障害者、外国人等の視点を

女性や子ども、障がい者、外国人等を含めた多様な都民の意見が反映されるべきです！  
防災計画の策定、避難所の運営、復興過程における意思決定の場・組織に女性の参画が必要です！

### 例えば、避難所では

#### ①女性たちは

- ・ 支援物資の女性用下着は普通サイズしかない←L.L.L.XLも欲しい
  - ・ 生理用ナプキンはたくさん来るけど生理用下着は入って来ない←絶対必要・尿漏れパッドも欲しい！
  - ・ 基礎化粧品と口紅だけでも欲しい！！
  - ・ 仕事に戻りたいのでブラジャーがなくて困っている
  - ・ トイレにも扉がない、避難所についたてや段ボールもない  
←授乳室や更衣室、女性用トイレや物干し場などプライバシーを確保できる場所が欲しい
  - ・ 瓦礫処理の男性には給料が出ているのに、炊事・洗濯・掃除の私たちには出ないなんて…
  - ・ 避難所で性暴力が起きてても、警察への届出がないものがほとんどで…
  - ・ DVで夫から逃げていたけど避難所の掲示でわかってしまった…
  - ・ 夫が仕事を失い、自暴自棄になり酒量が増えて荒れていて…
- ※ボランティアによる瓦礫処理や仮設住宅訪問も女性の場合、複数でないと危険

#### ②子どもたちのために

- ・ 粉ミルクやおむつ、哺乳瓶も欲しいけど、あってもお湯がない
- ・ 狭い避難所の中でストレスで子どもが壊れそう←子どもの学習室、遊び場が欲しい
- ・ 仕事に戻りたいので子どもを預けられる場所が欲しい

#### ③高齢の親がいて…

- ・ 認知症の両親が徘徊して皆に迷惑がかかるので…
- ①駐車場で寝ました。②私は壊れた自宅に連れて戻りしかなくて…
- ・ 避難所で配られる食べ物は食べにくい←柔らかい食べ物が欲しい

#### ④障害を持っていると

- ・ 子どもが障害を持っていて環境が変わってパニックになって騒ぐと、うるさい、静かにしろと怒鳴られてしまうので、駐車場で寝たことも…